

<ハイブリッド開催>

2023 年度 災研「研究交流会」のご案内



主 催：（一財）災害科学研究所

後 援：（公社）土木学会関西支部

（一社）建設コンサルタンツ協会近畿支部

土木学会CPD3.0単位

災害科学研究所では、産官学民連携の礎となるべく、活動の多様化・活性化に取り組んできており、本研究所の役員・研究員および研究会委員などの関係者をはじめ、一般の研究者・技術者を対象に、「研究交流会」を毎年開催してまいりました。

「研究交流会」では、当研究所の2022年度および2023年度活動状況について報告するとともに、優秀研究賞の表彰および研究成果発表を行います。奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

なお、「研究交流会」終了後、同じ会場内にて懇親会を開催いたしますので、あわせてご参加頂きますようお願い申し上げます。

研究交流会・懇親会へのご出欠につきましては、10月2日(月)までに申込URLより、お願い致します。

記

□ 日 時：2023年10月13日（金）13:00～17:00（研究交流会）

□ 場 所：大阪大学中之島センター 7F（セミナー室7C・7D）（※聴講はZoom ウェビナー併用）
大阪市北区中之島4-3-53 TEL：06-6444-2100

□ プログラム

13:00-13:10	開会挨拶	理事長 松井 保
13:10-13:20	2022年度活動報告・2023年度実施状況および討議	理事 金 裕哲
13:20-13:30	人材育成セミナー案内	研究員 東 和博
13:30-13:40	優秀研究賞の選考過程	実行委員会委員長 金 裕哲
13:40-14:00	優秀研究賞の表彰	
14:00-14:40	話題提供「インフラマネジメント研究の展望～社会実装を見据えて～」	大阪大学大学院工学研究科准教授 貝戸清之
14:40-14:50	休憩	
14:50-16:45	優秀研究賞の研究成果発表（プログラム参照）	
16:45-16:55	閉会挨拶	実行委員会委員 清水文夫
17:15-19:00	懇親会（大阪大学中之島センター 9F岸本忠三交流サロン）	

□ 参加費：「研究交流会」：無料（講演資料を含む）

「懇親会」：6,000円

□ 参加申込：会場参加 定員100名 オンライン参加 定員500名

下記URLよりお申し込みください。

※個人情報、当法人が実施・共催を行う事業・会合等の情報提供以外には使用いたしません。

<https://forms.gle/YRzWq1sEgLJAZPnR6>

申 込 先

（一財）災害科学研究所

E-mail saiken@csi.or.jp TEL 06-6202-5602

□ 補 足 :

- ・ 申込時に会場かWebをお選びください
- ・ 出席者の変更は可能です。
- ・ 動画のスクリーンショット・録音・録画・二次利用等は禁止いたします。
- ・ 複数のデバイスでの参加はご遠慮願います。

□ 土木学会認定 CPD プログラムの受講証明についての留意事項

【会場参加者】当日講演会終了後に受講証明書をお渡しいたします。

【WEB参加者】

- ・ 参加申込み受付と同じ氏名で講演会当日に受講されたことを確認します。
- ・ 受講して得られた所見（学びや気づき、100 文字以上）を、主催者「災害科学研究所」へメールでご提出いただく必要があります。所見の書式は自由です。
- ・ 他団体が運営する CPD 制度に関する内容については回答いたしかねます。

研究交流会 プログラム

会場：大阪大学中之島センター 7F（セミナー室 7C・7D）

全体司会 研究員 林 健二

12:45 受付開始

13:00 開会

13:00～13:10 開会挨拶 理事長 松井 保

13:10～13:20 2022 年度報告及び 2023 年度実施状況および討議 理事 金 裕哲

13:20～13:30 人材育成セミナー案内 研究員 東 和博

13:30～13:40 優秀研究賞の選考過程 実行委員会委員長 金 裕哲

13:40～14:00 優秀研究賞の表彰

14:00～14:40 話題提供「インフラマネジメント研究の展望～社会実装を見据えて～」
大阪大学大学院工学研究科准教授 貝戸清之

14:40～14:50 休憩

14:50～16:45 優秀研究賞の研究成果発表

(1) 近畿地方における市町村の橋梁メンテナンスサポートと「目安箱」の設置

(株)古市 古市 亨

(2) 橋梁用コッター床版工法のメカニズム解明、合理化、耐久性および耐荷力照査

(株)熊谷組 渡邊輝康

(3) 橋梁上部工の架替工事で用いる PC 床版の継手の開発

戸田建設 (株) 可児幸嗣

(4) 溶接構造部材の製作プロセス簡易化、効率化のための加熱矯正シミュレーション手法の構築

大阪大学大学院工学研究科准教授 廣畑幹人

(5) 波浪による礫浜の応答特性に関する研究

大阪大学名誉教授 青木伸一

16:45～16:55 閉会挨拶

実行委員会委員 清水文夫

※なお、講演者については、当日変更することがございます。